

堺市と関西大学との地域連携事業

「堺市の伝統産業における イノベーション創出プロジェクト」 学生活動成果発表会・講演会

【開催趣旨】

伝統産業は日本文化の伝承や地域経済の発展にとって重要な役割を果たしています。堺市には打刃物や線香、注染和晒など多くの伝統産業が存在し、優れた技術と技能が継承されています。伝統産業がこれまでの技術や技能を活かし、長期的に存続発展するためには、これまでの事業を継続しながらも新たな事業に進出するとともに、時代に合った製品を提供するためのイノベーションが必要です。関西大学では伝統産業の活性化を目的とし、2020年度から毎年学生による研究発表と講演会を実施してきました。今年度はそれらの成果を引き継ぎ、イノベーションをテーマに研究を重ねてきました。伝統産業の活性化に向けて取り組んできた成果を発表します。

【日時】2025年2月15日(土) 13:00～16:00
【場所】関西大学堺キャンパス SA402教室 対面でのみ実施

【プログラム】

13:00～13:05	開会の挨拶
13:05～13:50	学生発表(関西大学社会学部上野ゼミ)
13:50～14:00	休憩
14:00～14:45	学生発表(関西大学政策創造学部今井ゼミ)
14:45～15:00	休憩
15:00～15:40	講演会「伝統産業の存続メカニズム」 曾根秀一氏(静岡文化芸術大学教授)
15:40～15:55	意見交換会
15:55～16:00	閉会の挨拶

【学生の取り組み】

- ・線香：新商品開発・販売活動の報告
- ・注染：注染和晒手ぬぐいの販売活動の報告
- ・堺打刃物：若手職人の紹介動画作成、新商品開発・販売活動の報告



【講演会講師】

公立大学法人静岡文化芸術大学文化政策学部
曾根秀一教授

【プロフィール】

滋賀大学大学院博士後期課程修了。
博士(経営学)。カナダ・メモリアル大学客員研究員、帝塚山大学専任講師、ドイツ・キール大学客員研究員等を経て現職。専門分野は経営戦略、組織論、企業史。主要業績に『老舗企業の存続メカニズム』(単著)、『日本のファミリービジネス』(編著)、論文

“Cultural Approach to Understanding the Long-Term Survival of Firms” (共著, Business History, Vol.57) など。日本ベンチャー学会論文部門奨励賞(2014年)、ファミリービジネス学会賞(2019年)、商工総合研究所 中小企業研究奨励賞本賞(2020年)、企業家研究フォーラム賞(2020年)など受賞。



【事業参加企業・自治体】

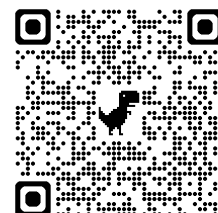
株式会社ナカニ 代表取締役・中尾雄二氏
株式会社福井 ブランド推進課課長・市川善夫氏
株式会社奥野晴明堂 代表取締役・奥野浩史氏
堺市 産業振興局産業戦略部地域産業課振興係長・松原達規氏

【電車でのアクセス】

南海電鉄高野線「浅香山」駅下車、すぐ。
<https://www.kansai-u.ac.jp/ja/about/campus/>

【参加方法】

- 事前申込制。参加無料。
「右のQRからお申し込みください。」
- 申込締切：2月13日(木)
- 参加対象者：一般、大学生・大学院生
- 定員：先着50名



問い合わせ先：

関西大学社会学部上野研究室
yueno★kansai-u.ac.jp

お問い合わせの際はアドレスの「★」を「@」に変更してお送りください。

主催：関西大学
後援：堺市



関西大学
KANSAI UNIVERSITY